

# IT自動化の 必要性

エグゼクティブが  
知っておくべきこと

# 自動化

## 自動化でビジネスを加速

04

デジタル・インフラストラクチャのレジリエンスを向上させる

05

自動化を IT 人材の維持に役立てる

05

Red Hat Ansible Automation Platform のビジネス価値 (IDC による調査)

08

## IT 自動化への包括的なアプローチ

10

Harvard Business Review Analytic Services の最新のパルスサーベイ

11

IT 自動化ソリューションに必要な要素

13

## 1つのプラットフォーム、多くのメリット

15

インフラストラクチャ管理を自動化して複雑さを克服する

15

自動化によってネットワーク・プロビジョニングを加速する

16

自動化によってエッジでの安定性と一貫性を得る

17

セキュリティ機能に重点を置いた自動化へのアプローチ

18

クラウドの自動化によって複雑さを軽減する

18

自動化によってアプリケーションのデプロイを単純化する

19

## 目次



## 成功のスナップショット

21

## ビジョンを現実のものに

25

## そこからの針路

28

### お客様導入事例：

BlueCross BlueShield of  
North Carolina

22

自動化戦略の構成要素：自動  
化戦略の3つのフェーズ

26

アジア開発銀行

23

AIA Group

24

# 目次

# 自動化で ビジネスを 加速

効率の向上や環境のモダナイゼーションなど、組織はさまざまな理由で新しいテクノロジーを導入しますが、最新かつ最高のソリューションが具体的なビジネス上のメリットをもたらさないとすれば、実際、それに何の意味があるのでしょうか？

自動化は、ビジネスのレジリエンシー（回復力）から、イノベーションの市場投入時間の短縮、確実な投資対効果（ROI）に至るまで、複数のビジネス上のメリットを提供できるソリューションの1つです。

「これまでは、投資対効果の向上の機会（コスト削減など）と市場投入時間の短縮という2つの主なメリットが、インフラストラクチャ自動化の必要性を高めていました。現在、自動化は、増大する労働力の課題に対処し、基幹業務からの追加の要求に対応するためにも重要です」<sup>1</sup>

Jenvin Jensen 氏

IDC インフラストラクチャおよび運用担当  
リサーチバイスプレジデント



自動化のもう1つのメリットは、単一の機能を実行するために開発されることが多い自社開発のツールに内在するリスクが軽減されることです。

ツールに関する知識を持っているスタッフが組織を離れると、それとともにそのツールの関連スキルが失われ、前後関係がわからなくなり、プロジェクトが無益なものになることもあります。自動化は、このようなリスクを排除するのに役立ち、組織にとって大きなメリットとなる可能性があります。

## 自動化を使用してデジタル・インフラストラクチャのレジリエンスを向上させる

Red Hat が後援する IDC InfoBrief の「[自動化でデジタルビジネスのレジリエンスを実現](#)」<sup>2</sup> では、自動化は「動的なワークロードとハイブリッドクラウド・インフラストラクチャにおけるパフォーマンス、コンプライアンス、セキュリティを確保するのに役立つため、レジリエンスを実現する重要な要素」であるとされています。

また、「デジタル・インフラストラクチャのレジリエンスは、予期せぬ障害、侵害、またはミスに直面した場合でも、デジタルビジネスの混乱を予測し、検知し、プロアクティブに修正することにより、ビジネスの成功をもたらす」とも述べられています。

これらに照らして、このレポートでは、回復力のあるデジタル・インフラストラクチャは、収益、市場投入時間の短縮、運用効率、従業員の生産性、コスト削減などの領域で非常に大きなビジネス成果をもたらすことがわかりました。

このレポートは、デジタル・インフラストラクチャのレジリエンシーを自動化し、今後2年間でデジタルトラストとサイバーセキュリティを確保するための最大の機会を明らかにしています。

## アンケートの回答者は次のことを優先しています。

38%

インフラストラクチャ構成の標準化、コンプライアンス、および修復の自動化

32%

インシデントおよび脅威への対応の標準化と自動化

27%

ユーザーアクセス制御とID管理の一貫性と統合

26%

ネットワークとエッジ・セキュリティ・ソリューションの統合

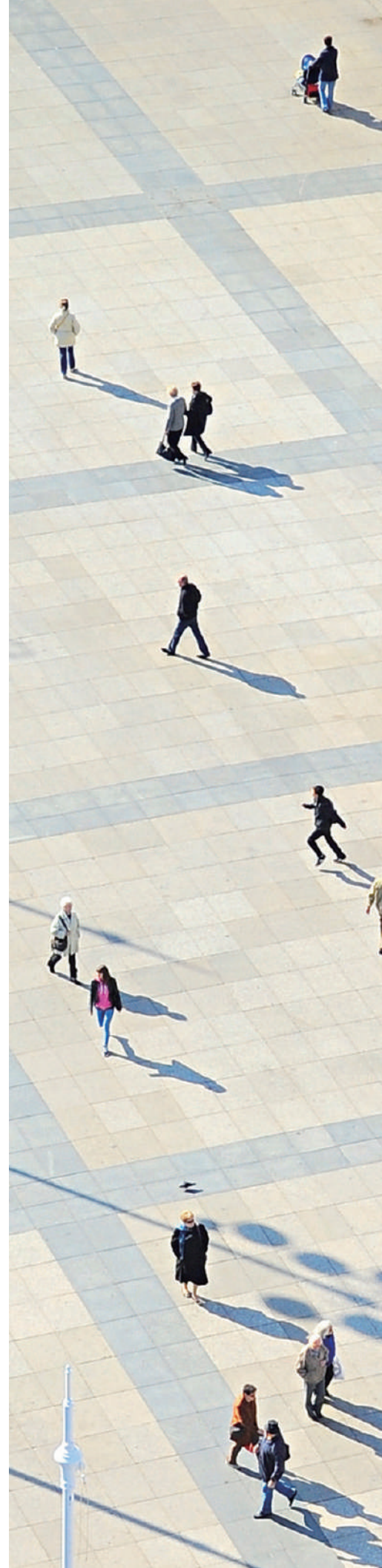
26%

人工知能と機械学習 (AI/ML) の可観測性、依存関係、および脅威の分析

26%

コンテナイメージのスキャン、強化、および検証の自動化

デジタル・インフラストラクチャのレジリエンシーに関する詳細は、[IDC InfoBrief](#) をご覧ください。



# 自動化を IT 人材の維持に役立てる

大量離職はあらゆる業界の企業に影響を与えており、優秀な人材を求める雇用市場は活況を呈しています。新しい従業

員を募集して雇用し、トレーニングするよりも、現在の人材を維持する方が費用が少なく済むことは明らかであり、現

在の IT スタッフを維持することは不可欠です。自動化は、従業員を定着させる上で重要な役割を果たすことができます。

David Egts 氏による [The Enterprisers Project](#) の記事では、自動化を使用して新たな人材を惹きつけ、定着させるために役立つ 4 つの提案が示されています。<sup>3</sup>



Egts 氏は、「優先順位の見直しが行われるだろう。そして、従業員が満足して仕事に従事し続けるためには自動化が不可欠になるだろう」との予測をその記事の結論としています。

How automation strategy can help you retain IT talent (IT 人材の維持に自動化戦略がどのように役立つか) の記事全文をご覧ください。

[記事を読む →](#)

## 1.

**離職は避けられないが、自動化によってその悪影響を和らげることができる**

自動化を使用すると、プロセスを体系化し、人間には不可能な、客観的な一貫性を実現できます。

## 2.

**自動化の実践コミュニティを通じて、全員が最良のアイデアを共有し、互いの仕事を発展させることができる**

組織全体に自動化を導入すると、プロセスが個々の従業員だけのものではなく、実践コミュニティのものになります。これにより、組織への帰属意識を得ることができます。

## 3.

**自動化が意味と目的をもたらす**

同じタスクを手動で繰り返す作業から解放されるため、チームが組織のミッションに密接に関連する仕事に専念できるようになります。これによって、チームはより意識的に組織の目的と連携できるようになります。

## 4.

**ワークフローツールとの自動化統合によって意味を強化**

自動化されたタスクをワークフローツールと統合することで、従業員は意味と目的に基づいて優先順位を見直せるようになります。これは、優秀な人材を維持するためには極めて重要です。

# ビジネス価値を測定する最善の方法とは

数字で見ることです。IDC が Red Hat® Ansible® Automation Platform のビジネス価値を調査して明らかになったことを以下にご紹介します。

## Ansible Automation Platform のビジネス価値

Red Hat が後援する IDC ビジネス価値ホワイトペーパーでは、Ansible Automation Platform を使用するお客様にもたらされる価値とメリットが明らかになりました。これらの組織は、

Ansible Automation Platform を使用して、一貫性のある反復可能なモデルでクラウド環境およびチームでの IT 運用、コンテナと構成のアクティビティを標準化し、自動化しました。

このホワイトペーパーは、ビジネスにおける自動化の重要性がかつてないほど高まっていると断定し、次の結論に達しました。

Ansible Automation Platform を使用している組織が実現したこと：

**667%**

5年間の投資対効果 (ROI)





76%

予定外のダウンタイムの削減

75%

新しいストレージリソースのデプロイメントの迅速化

39%

年間に開発されるアプリケーション数の増加

30%

IT セキュリティチームの効率の向上

30%

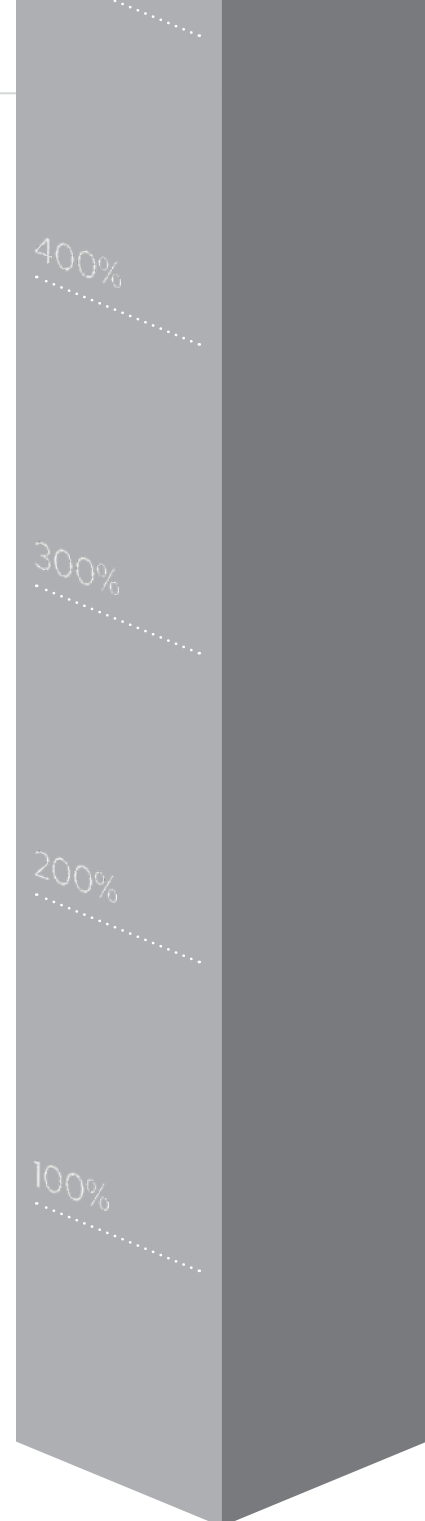
IT インフラストラクチャ管理の効率の向上

29%

ネットワーク・インフラストラクチャ管理の効率の向上

10 カ月

投資回収の期間



Ansible Automation Platform のビジネス価値の詳細は、IDC ホワイトペーパーをご覧ください。

[ホワイトペーパーを読む →](#)

190  
万米ドル

年間の新規収益の合計<sup>4</sup>

# 自動化 への包括的なア プローチ

リモートワーカーのための回復力のあるネットワークの重要性、ハイブリッドクラウド環境の管理の複雑さ、デジタル・トランスフォーメーションに向けた継続的な取り組み、セキュリティリスクを常に管理する必要性などの要因が増え続け、それらが混在する状況で、**自動化の必要性は重要**になっています。

自動化について戦略的に考え、マーケティング部門、営業部門、人事部門、法務部門など、従来の IT 領域を超えて組織全体に自動化を拡張することで、チームはより迅速に行動し、予測可能性と効率を向上させて業務を遂行し、新しい働き方を生み出すことができます。

これは、従業員を価値の低い手作業から解放し、彼らの労力をより価値の高い作業に再び集中させることができます。



組織独自のビジネスニーズに焦点を当てた統合戦略による IT 自動化への包括的なアプローチは、組織が業務を運営するためだけでなく、市場で勝つために必要な**スピード、規模、安定性、セキュリティ**を実現するのに役立ちます。



## 包括的なアプローチの取り方

Harvard Business Review Analytic Services の最新のアンケートでは、回答者の 79% が、IT 自動化を実装するためのアプローチが組織全体で統一されていることが「極めて重要」または「とても重要」であると考えていることが明らかになりました。

しかし、「自分の組織では IT プロセスの一部だけを自動化するのではなく、そのプロセスをエンドツーエンドで完全に自動化することを計画している」と答えたのは、回答者の半数強（53%）でした。

79%

極めて重要である

とても重要である

53%

IT プロセスの完全な自動化を計画

## この差異の理由

このアンケート結果は、組織が IT 自動化のアプローチを取ることにあまり積極的ではなくためらっている、または、IT 自動化における十分な経験や信頼できるものがないことを示唆している可能性があります。この要因は、レポートのインタビューを受けたアナリストによって裏付けられています。



テクノロジーコンサルタント会社 IDC のレポートによれば、包括的なアプローチに精通するにつれて、この抵抗感は弱まる傾向にあります。

「自動化が実装され、旧式で時間のかかる手動のプロセスが置き換えられていくにつれて、組織でそのメリットの理解が深まってゆき、時間の経過とともに IT 自動化へと積極的にアプローチすることに抵抗を感じなくなります。また、ビジネス目標に直接結びつく、より高度な自動化の作成方法について、より多くのことを学びます」

**Mary Johnston Turner 氏**

Future of Digital Infrastructure Agenda  
リサーチバイスプレジデント

**すべての組織が IT 自動化をすぐに受け入れるわけではありませんが、それを戦略的な優先事項とする組織は他に先んじることができるでしょう。**

Red Hat の Ansible ビジネスユニット担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーである Thomas Anderson は、次のように述べています。「自動化しなければ、競争して勝つ機会はずっと少

くなります。... 究極的には、自動化が意味するものは速度であり、アジリティであり、生き残る力です。今こそ、その変化を実現するために必要な支援を組織に提供する時です」



さらに詳しく見ていく準備が  
できたら

「IT 自動化を主導する：自動化戦略のエバンジェリストとしての IT リーダー」をご覧ください。

[アンケートを読む →](#)

包括的な IT 自動化ソリューションを探す場合は、可搬性からトレーニングまで、さまざまな要因を考慮することが重要です。

e ブック「IT エグゼクティブのための自動化ガイド：革新的な自動化の必要性」では、IT 自動化ソリューションにおいて何を追求すべきか、包括的な自動化プラットフォームと特定の問題を管理するツールの選択という最も重要なことから始まるチェックリストを提供します。



## IT 自動化ソリューションに必要な要素

自動化する理由と組織への自動化の導入を成功させる方法を理解した後は、IT 自動化のソリューションを選択する必要があります。

### ☑ ツールで妥協しない

組織のデジタル・トランスフォーメーションに不可欠な要素として、自動化を包括的に捉えましょう。タスクだけでなくワークロードも自動化できれば、プロセス全体を変更して従業員の作業時間を節約することができます。

### ☑ 複数のワークロードとドメインを単一のソリューションとしてサポートする自動化プラットフォームを見つける

自動化するにつれて、柔軟性と俊敏性が必要になります。組織には数千のコンテナが存在する可能性があるため、コンテナのデプロイ、ネットワーク、拡張性および可用性についての自動化とオーケストレーションを実行できる自動化ソリューションを見つける必要があります。

### ☑ 導入が容易な自動化プラットフォームを選択する

組織全体で受け入れやすい自動化プラットフォームを見つけましょう。簡単に習得できるプログラミング言語と共有可能な認定済みコンテンツを備えたテクノロジーを探しましょう。

### ☑ ロックインなしの自動化ソリューションを採用する

オープンソース・テクノロジーをベースとする自動化プラットフォームを選択すると、相互運用が可能になり、ベンダーロックインがなくなるというメリットが得られます。

☑ 管理ツールを備えた自動化プラットフォームを選択する

分析、ロールベースのアクセス制御 (RBAC)、コンテンツをシームレスに共有する機能を備えたプラットフォームを見つけましょう。

☑ コンサルティングとトレーニングを提供するベンダーを選択する

実装とトレーニングに関する管理を組織が行う必要はありません。自動化プラットフォームの構築と、その効果的な使用方法に関する従業員の教育を支援してくれるベンダーを見つけましょう。

「IT エグゼクティブのための自動化ガイド」<sup>5</sup>からの抜粋。e ブック全文は[こちら](#)。

ビジネスのあらゆる側面に IT 自動化を適用することで、組織内の効率を高め、運用コストを削減し、柔軟性を向上させることができます。



組織全体で自動化の取り組みを開始する方法についての詳細は、知見と業界のベストプラクティスに関する「[Red Hat Ansible Automation Platform: 初心者向けガイド](#)」をご覧ください。

[ガイドを入手する](#) →



# 1つのプラットフォーム、 多くのメリット

## Ansible Automation

Platform は、自動化のあらゆる段階で組織を支援できるように設計されています。

この多面的な自動化ソリューションは、最大限の柔軟性を実現するように作られているため、組織はこのソリューションを使用して、あらゆる規模で、あらゆる場所で、あらゆる IT 環境を自動化できます。

最終的に組織全体の包括的な自動化を目指すのもよいですが、まずはどこから手を付ける必要があります。次に、自動化を通じてさまざまな領域で組織全体にもたらされる主なメリットをご紹介します。



## インフラストラクチャの自動化で 複雑さを軽減

Ansible Automation Platform は、先進的な IT 環境の複雑さを軽減するのに役立ちます。一貫性のあるソリューションを使用して、物理環境、仮想環境、またはコンテナ化された環境など、複数の異なる

環境にわたってインフラストラクチャの構築、デプロイ、プロビジョニング、管理を行えます。組織が変化に適応し、セキュリティリスクを軽減し、コストを管理するために役立ちます。



詳細はこちら詳細は、eブック「[インフラストラクチャのワークフローを自動化する](#)」をご覧ください。

[eブックを読む →](#)



「今後5年から6年で、デジタル・インフラストラクチャの大部分は、インテリジェントでポリシー主導型の自動運転と自己修復の自動化を使用して調達、管理、最適化されるでしょう...」<sup>6</sup>

IDC の FutureScape:

Worldwide Future of Digital Infrastructure 2022 Predictions

## 自動化によってネットワーク・プロビジョニングに対応

Ansible Automation Platform により、複数のチームが単一のソリューションを使用してネットワークなどの領域を統合できるようになり、応答が迅速になります。エッジデバイスからクラウド需要の増加まで、ネットワークの規模と複雑さは増大しています。Ansible

Automation Platform を使用すると、手作業では不可能な方法で、ネットワークのプロビジョニングと検証、構成管理、およびインフラストラクチャ認識に対応できます。

詳細はこちら: [Ansible Network Automation の概要の動画](#)を見る



### Swisscom

スイスの大手通信会社は、サーバー、ファイアウォール、ネットワークデバイス、ストレージデバイスなど、15,000 以上のネットワーク・コンポーネントを自動化しました。<sup>7</sup>

[Swisscom の事例をさらに詳しく →](#)

1,500

のネットワーク・  
コンポーネント



## 自動化によってエッジでの安定性と一貫性を得る

Ansible Automation Platform は、エンドツーエンドの自動化をデプロイするための安定した基盤を提供します。自動化の対象には、データが生成され、エンドユーザーがデバイスやシステムとやり取りし、サービスが使用されるエッジ環境も含まれます。IT ランドスケープはデータセンターやクラウドからエッジにまで

拡大しており、セキュリティ、一貫性、コンプライアンスを強固に保つ必要があります。Ansible Automation Platform を使用すると、インフラストラクチャ全体で一貫したエクスペリエンスが得られ、異種混在環境でも自動化を拡張できるようになります。共通のプラットフォームを使用することで、高度に分散されたシ

ステム全体をセキュリティ重視の自動化ワークフローによって構築、実行、管理でき、広範なエコシステム全体で、そしてネットワークへの常時接続が難しい遠隔地でもレジリエンスを実現できます。

詳細はこちら: e ブック「[エッジでの自動化: 7つの業界ユースケースと事例](#)」を読む

## IDC のレポート「[ラストワンマイルを自動化する: エッジにおける一貫性と安定性の確保](#)」では、次のことが明らかにされています。



73%

の組織がエッジコンピューティングを戦略的投資と見なしています。



54%

の組織が今後 24 カ月以内にエッジ関連の IT 自動化に投資する予定です。



59%

の大規模企業が IT 自動化プロジェクトへの投資を 12 カ月未満で回収したと報告しています。<sup>8</sup>



ネットワークエッジでの自動化の詳細は、こちらの動画をご覧ください。

[動画を見る →](#)



## セキュリティ機能に重点を置いた自動化へのアプローチ

Ansible Automation Platform を使用すると、増大するエンタープライズ・セキュリティの脅威に直面しているほとんどの組織にとって優先度の高いセキュリティプラクティスを、最適化された効率的な方法で自動化できます。Ansible Automation Platform は、精選された

Playbook、モジュール、およびロールのコレクションを通じて、組織が調整かつ統一された方法で脅威に対応できるよう支援します。これには、脅威ハンティング、インシデント対応、そして調査へのアプローチの強化が含まれます。

詳細はこちら：eブック「[セキュリティ運用センターを単純化する](#)」を読む

# 287 日

データ侵害の特定と封じ込めにかかる期間



IBM Security の [情報漏えい時に発生するコストに関する調査 2021 年版](#)によると、データ侵害を特定して封じ込めるまでには平均で 287 日かかります。このレポートでは、「セキュリティ AI/自動化は、侵害を特定して封じ込めるまでの時間の短縮と関連性があり」、コスト面で最も大きなプラスの効果があることが明らかになりました。\*

## クラウドの自動化によって複雑さを軽減する

Ansible Automation Platform を使うと、クラウドデプロイメントがパブリッククラウド、プライベートクラウド、マルチクラウド、またはハイブリッドクラウドで効果的かつ効率的に機能するよう

になり、プロセスから当て推量をなくすのに役立ちます。Ansible Automation Platform はプロビジョニング、構成、コンプライアンスに使用できます。

詳細はこちら：Red Hat Ansible Automation Platform による [クラウドサポート](#)、eブック「[IT 自動化でハイブリッドクラウド環境を接続する](#)」





「当社はクラウド・インフラストラクチャの一部として Red Hat Enterprise Linux on Microsoft Azure を実行しているので、Red Hat テクノロジーを利用し、そのチームと共同作業をした経験があります。Ansible Automation Platform は当社の技術仕様とベンチマーク要件を満たし、ローカルサポートも利用可能でした」<sup>10</sup>

**Vikas Bhandari 氏**

AIA Group クラウドおよびインフラストラクチャ グループエンジニアリングおよびデリバリー担当ディレクター

AIA Group が [ワークロードの 90%](#) をクラウドに移行した方法を見る

## 自動化によってアプリケーションのデプロイを単純化する

Ansible Automation Platform を使用すると、アプリケーションのデプロイを自動化できます。アプリケーションやサービスが存在する場所に関係なく、1つのプラットフォームからすべてをデプ

ロイできる、最も簡単な方法です。Playbook は作成と保守が容易で、これを使うことでインストール、アップグレード、日常の管理が繰り返し可能かつ信頼性の高いものになります。

詳細はこちら: [アプリケーションのデプロイのユースケース](#)を見る

「非常に困難で変化の激しい状況では、自動化が標準的で反復可能なプロセスの作成に役立ちます」<sup>11</sup>

**Sean Greer 氏**

デンバー市郡 IT サービスデリバリー担当理事



米国コロラド州のデンバー市が Red Hat Ansible Automation Platform を使用してリモートワークをどのようにサポートしているのか、ご覧ください。

[詳細はこちら](#) →



どの領域から開始するかを決定したら、次は、あらゆる場所で一貫したエクスペリエンスを提供するためには自動化をどこで実行するべきかを検討します。

Ansible Automation Platform はコンテナネイティブなので、それを実現できます。そのため、以下の環境で反復可能な自動化を作成し、効率的に管理し、必要に応じて拡張する柔軟性が得られます。



### データセンター

依存しない自動化、ビジネスワークフローへの統合、複数の IT ドメイン間での共通の言語やフレームワークの維持



### パブリッククラウド

プロビジョニング、アプリケーション・ライフサイクル管理、クラウド管理



### ハイブリッドクラウド

インフラストラクチャの調整、構成管理、ライフサイクル管理、ビジネス継続性



### エッジ

イベント駆動型の自動化、障害復旧、大規模な構成、リモート更新とコンプライアンス



#### Red Hat Ansible Automation Platform の詳細情報

このデータシートで、機能やメリットなどの製品概要をご覧ください。

[データシートを見る →](#)



# 成功のスナック ポイント

自動化によってビジネス価値を実現した実例を見れば、自動化戦略を導入した組織にどのような結果がもたらされたのかがわかります。

Ansible Automation Platform を使用して成果を上げている組織の事例をいくつかご紹介いたします。



## BlueCross BlueShield of North Carolina、Red Hat を 使用して 7 万時間分の作業を削減

「複雑で繰り返しの多い数々のタスクを Ansible Automation Platform で自動化することで、コスト効率の良い、一貫性のある効果的な処理を可能にする IT がビジネス価値を生み出すことを実証できました。最初の 2 年だけでも 20 万の Ansible Playbook を実行し、推定 7 万時間分の作業を削減できました。仮にスタッフの時給が 50-75 米ドルとして計算すると、膨大なコストを節約したことになります」<sup>12</sup>

**Peter Bojovic 氏**

BlueCross BlueShield of North Carolina  
テクノロジーインフラストラクチャ担当取締役



**70,000  
時間**

Red Hat を使用して節約

## BlueCross BlueShield of North Carolina の成果

- 高コストな外部のマネージドサービスから新設した社内 IT チームへの切り替え
- VM のプロビジョニングを自動化して 7 万時間分の作業を削減
- 組織全体にアジリティ重視の意識が定着



お客様事例の全文はこちらから  
ご覧ください。

[導入事例を読む →](#)

## アジア開発銀行、Red Hat でインフラストラクチャ管理を自動化して数百時間を節約

「Ansible Automation Platform のおかげで、作業をより速く、より安全に完了できるようになり、レジリエンシーも向上しました。Red Hat は、アジア開発銀行が先進性と適応性を向上できるように支援してくれています」<sup>13</sup>

**Pierre Passin 氏**  
アジア開発銀行次長

### アジア開発銀行の成果

- データベースのクローニング、パッチ適用、復旧を自動化することで毎年数百時間分の作業を削減
- インフラストラクチャのセキュリティと信頼性を向上
- エキスパートの指導を受けて自動化戦略を最適化



お客様事例の全文はこちらからご覧ください。

[導入事例を読む →](#)



## AIA Group、IT プロビジョニングを自動化してサービス提供を迅速化

「クラウドと自動化ソリューションを活用することで、テクノロジー、デジタル、および分析機能の構築に大きな変化をもたらし、業務全体のアジリティを高め、お客様の進化するニーズに対応しています」<sup>14</sup>

**Marcel Malan 氏**

AIA Group  
グループ IT 運用統括責任者

### AIA Group の成果

- インフラストラクチャのデプロイと構成のプロセスを自動化
- 顧客、ディストリビューター、パートナーのエクスペリエンスを大幅に向
- 従業員の作業環境を改善



お客様事例の全文はこちらからご覧ください。

[導入事例を読む →](#)



# ビジョンを 現実のもの のに



自動化が自社ビジネスにもたらすメリットを考えてみてください

チーム同士がつながり、統制の取れた自動化を行えたら、何を実現できるでしょうか？

チーム同士が統合され、孤立するグループがなくなると、次のことが可能になります。

- 市場投入までのスピードを大幅に加速する
- DevOps の文化を育む
- ハイブリッドクラウド環境を拡張する
- インフラストラクチャの安定性を向上させる
- コンプライアンスを継続的に維持する

タスクを自動化し、協調的な DevOps 環境を構築すれば、次のことが可能になります。

- エンドツーエンドの生産コストを削減する
- ヒューマンエラーとダウンタイムを最小限に抑える
- IT 環境の複雑さを軽減する
- セキュリティ脆弱性の排除に取り組む
- 平均修復時間を短縮する



## 準備状況診断ツール

組織でどの程度、未来を受け入れる態勢が整っているかを確認しましょう。

[診断する →](#)

# 自動化戦略の構成要素

自動化導入の 3 つのフェーズに焦点を当て、効率性、信頼性、競争上の優位性を獲得しましょう。

## 高速化で効率性を実現

### 自動化してスピードアップ

- 自動化のモダナイゼーション
- タスクに注力
- チーム中心
- 反復可能でモデルベース

## オーケストレーションで信頼性を実現

### 拡張を見据えて設計する

- エンタープライズ自動化
- ワークフローに注力
- マルチチーム
- 標準化とガバナンス
- デプロイメント戦略

## イノベーションで競争上の優位性を実現

### アジリティを考慮した設計

- 自動化ファーストの文化
- ビジネスへのインパクトを重視
- 広範なコラボレーション
- ワークフローの見直し

# エンタープライズ自動化 を始める方法



1.

小さなところから始めて、大きな視野で考えましょう。自動化の取り組みは、自動化のメリットをすぐに実感できるように、単純で頻繁に繰り返されるタスクを自動化することから始めましょう。

2.

そこから、より複雑なタスク、ドメイン全体、IT プロセス全体の自動化へと拡張していきます。

3.

自動化アーキテクトを選任して、IT 部門に自動化ファーストの考え方が導入されるようにし、どこから始めてどのように進めるべきかを理解できるようにします。この重要な役割についての詳細は、[自動化アーキテクトのハンドブック](#)をご覧ください。

[Red Hat Executive Briefing Center](#) と連携して、可能なことから実行し、実現していきましょう。

Red Hat の経営幹部、テクニカル・ソート・リーダー、プロダクトオーナーと一緒に、貴社固有のビジネス上の課題を評価し、それに取り組むことができます。



Red Hat Executive Briefing Center Program の概要をご覧ください。

[動画を見る →](#)



# そこから5の針路



Ansible Automation Platform を使用することで解決できる問題、得られる突破口、実現できる価値は無限です。しかし、どのように始めればよいのでしょうか？



何が可能なのかについて詳細は、Ansible Automation Platform のランディングページをご覧ください。

[ランディングページを見る →](#)



貴社の自動化戦略についてご相談ください。

[お問い合わせ →](#)



今すぐ始めたい場合は、60 日間のトライアルサブスクリプションをご活用ください。

[無料トライアルを利用する →](#)



進むべき次のステップについて、Red Hat コンサルティングチームにご相談いただくこともできます。

[お問い合わせ →](#)